

---

# 好きって？

紅炎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

好きって？

### 【Nコード】

N8966R

### 【作者名】

紅炎

### 【あらすじ】

好きってなんでしよう。

好きってどんな感情なんでしよう。

誰か教えてくれませんか？

私には一生分かりません。

## (前書き)

思いついたら書いていた。そんな文章なのでいいもの期待している人は見ないほうがいいでしょう。気分を害するおそれがあります。また、これは独りよがりな考えです。注意してください。

好きって、何でしょう。

好きって、どんな気持ち何でしょう。

先程まで、私の目の前には恋人がいました。

一年くらい付き合ってたでしょうか。

でもさつきふられました。

理由は色々ありましたが、一番大きい物、と言うより、全ての理由の根っこにこれがありました。

“あなたが好きなのは私じゃない。”

私はこれに何も言えませんでした。何の文句も言えませんでした。何故かって？

その通りだったからですよ。

確かに考えてみれば、今私は前・恋人を好いてはいませんでした。でもおかしいですね。私は付き合い始めた時、確かに前・恋人を好いていました。家に帰ると、苦しくなって胸を掻き毟った覚えがあります。なのに、今は好いていない。何故でしょう。

この問題の答えも前・恋人が出してくれました。優しいですね。

“あなたは流されやすい。”

なるほど。そういうことか。あの時、私が感じた「好き」という感情は、前・恋人の感情だったのですか。

私にとって、前・恋人は「話しやすくとても親しい友達」程度だっ

たのかもしれない。そのぐらいにしか思っていなかった。いや、思えなかったのかもしれない。

周囲からすると、私は「優しい」人間だそうです。また、「親しみやすい」人間でもあるそうです。確かに、周囲の先輩・同輩・後輩とは広い交流をしてきました。後輩からは笑いながらタメ口で茶化されることもありました。これはこれで楽しいですよ？

とりあえず、周囲の意見を統合すると、私は「平等」だそうです。みんなを、立場の違いはあれど、ある程度平等に見る人間。それが私です。

さて、ここで問題なのですが、「みんなを平等に見る」人間が「誰か一人を特別に見れる」人間になれるのでしょうか。

私はこう答えましょう。「限りなく難しい。」と。「無理」とは言いません。世の中には器用な人もいます。でも、それでも時間はかかるんじゃないですかねえ。

ああ。私の前・恋人は本当にかわいそうだ。自分を好いてもいない相手と一緒に過ごして、一年も無駄にってしまったのだから。

こんな風に考えている辺り、私は本当に前・恋人を好いていなかったと言ったことがわかります。

さて、好きって、何でしょう。好きって、どんな気持ちでしょう。

私のような人間には一生わからない、一生解けない問題なんですよ。

こう思うと、私以外の「優しく」「親しみやすく」「平等」な人たちにあらぬ誤解を招くかもしれません。しかし、思わずにはいら

れないのです。  
ああ、最低だ。

(後書き)

特に深く考えずに打ち込みましたが、どうでしょうか。  
感想欄には「好き」についての見解を書いてくださるとありがたい  
です。

読んでいただきありがとうございます。  
ご意見・ご感想をお待ちしております。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8966r/>

---

好きって？

2011年7月30日22時20分発行